生成AI 3モデルの比較と知財実務への活用指針

Artificial Analysisの評価に基づき、GPT-6.2 Astra、Claude Fable 5.2、Gemini 4 Carbonの3モデルを比較。
総合知能のFable、検証精度のAstra、自動化と誤答抑制のCarbonという強みに応じた知財実務の役割分担を整理する。

GPT-6.2 Astra




科学検証とPDF達成率で最高成績

総合指数 (v5.0.1)	知識正答率 (Omniscience)	誤答・ハルシネーション率
62	68.6%	約59%

Claude Fable 5.2




難問解答と資料統合で最高得点

総合指数 (v5.0.1)	知識正答率 (Omniscience)	誤答・ハルシネーション率
65	79.1%	約59%

Gemini 4 Carbon




SaaS操作首位。誤答率わずか11%

総合指数 (v5.0.1)	知識正答率 (Omniscience)	誤答・ハルシネーション率
60	58.3%	約11%

知財実務における推奨役割分担



Astra：対比表・数値照合
明細書と引例の数値・条件の照合。



Fable：論点抽出・戦略起草
複数文献の論点抽出や戦略起草。



Carbon：SDI監視・台帳登録
新着特許の監視・振分と台帳転記。

Gemini Notebook